

学校支援本部ってなんだろう新聞

平成26年12月1日発行
発行：杉並区学校支援本部運営懇談会
(事務局)杉並区教育委員会事務局学校支援課
杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL 3312-2111 (内) 1643
Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp



第八号

■学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって■

「学校支援本部」とは、学校を支えるボランティア活動を組織化して、より効果的に子どもたちの学びを支える仕組みです。杉並区では、全小中学校にあり、学校の要望に応じて授業支援や学習環境の整備等にあたっています。より多くの区民の皆様へ「学校支援本部」のねらいと取組をご理解いただき、協力の輪が広がっていくことを願って、年三回、この新聞を発行しています。本部関係者のほか、教職員、保護者の皆様に配布しています。増刷大歓迎です。皆さまからの、ちょっとイイ話、困りごと、提案なども、お寄せください。

「算数の学習支援」の様子をご紹介します☆

学校支援本部では、保護者や地域のボランティアの方々にご協力いただき、様々な学習支援活動を行っています。第八号では、算数の学習支援の取組をご紹介します☆

沓掛小学校「夏休み算数パワーアップ教室」

「今年は算数につまずきを持つ児童を特に手厚くフォローしたい！」という学校側の思いを受けて、7月24日～30日の間、「夏休み算数パワーアップ教室」のサポートを実施しました。

昨年は丸つけサポーターを募りましたが、今年は算数に強いサポーターも必要なため、高校生にも募集範囲を広げました。保護者を通じ、卒業生に依頼をしたら9名の高校生が引き受けてくれました。また、日頃から授業や中休み遊びなどに協力して下さる地域の方25名に大学生3名も加わり、サポーターは37名になりました。サポーターの予定を調整し、資料・名札・分担表などを作り、ご自宅にポストイングをしました。

当日は、解答プリントを持って机をまわり、丸つけをしたり、必要な子には隣に座り1対1でサポートしたりとハードな60分になりましたが、「わかった時にパッと咲く子どもの笑顔がうれしかった」と、サポーターの方々も喜んでくださいました。

児童、サポーター、先生に笑顔の連鎖が生まれ、プロジェクトの成功に支援本部もにっこり笑顔になりました！



(沓掛小学校支援本部
学校・地域コーディネーター：藤原 千穂さん)

済美小学校支援本部「算数の朝先生」

町会や民生児童委員など地域の方々とPTAがボランティアとして、毎週火曜日朝8時に学校に集まります。芝の校庭で子ども達が思い思い自由に遊びまわることができるよう、また、かしのみ学級の子も達が校門から昇降口、教室へとスムーズに入っていけるよう見守ります。



8時15分のチャイムが鳴ると、ボランティアが2～3名に分かれて1、2年生の教室に入り、授業前の準備をする子ども達の様子を見守ります。8時25分になると朝学習の時間が始まります。子ども達は一生懸命算数の計算問題に取り組み、解き終わると、教室の後ろに控えている「朝先生」の所へ持っていきます。「朝先生」は丸つけをしながら、「〇〇さん、よくがんばったわね！」と一人一人に励ましの言葉をかけます。丸つけ以外にも、数字の書き方などアドバイスすることもあります。

学力向上のみならず、子ども達と顔なじみになり、登下校中や地域の行事等で顔を合わせた時にきちんと挨拶しあえる関係をつくりたいと願っています。

(済美小学校支援本部：水野 秀子さん)

☆杉並第九小学校「みんなで月食を見よう」☆

約3年ぶりの皆既月食となった10月8日、学校、PTA、そして学校支援本部が連携し、月食観察会「みんなで月食を見よう」を開催しました。

秋の七草が飾られ、図書ボランティアの方々による折り紙コーナーが用意された体育館で、琴の生演奏と共に会が始まりました。300名を超える参加者達は栄養士、給食調理員手作りのお月見だんごを味わい、その後PTAの方々子ども達に、月についての絵本の読み聞かせを行いました。

読み聞かせが終わると、いよいよ月食もピークです！全員が校庭へ移動し、先生方が用意したたくさんの望遠鏡で観察を始めました。

途中、雲が空を覆いましたが、欠けた月をはっきり見ることができ、子ども達はとても楽しそうな様子でした。また、「月が赤い！！」といった驚きの声も聞かれました。

杉九小と地域の素晴らしいチームワークを感じることでできた観察会でした☆

学校支援本部の皆さま、「ぜひ紹介したい！」という活動がありましたら、学校支援課まで情報をお寄せください♪取材に行きます！



“学校・地域コーディネーター”研修報告

9月、コーディネーターを対象とした二つの研修が行われました。

一つ目の研修は、文部科学省の小林正典先生を講師に、以前先生が勤務されていた奈良市の取組を通じて地域連携の大切さについてお話を伺いました。後半は、100人近い参加者が17グループに分かれ、目指す子どもの姿について意見交換を行いました。子どもの活動を支援する本質は、子どもを主体として多くの大人を巻き込んでいく活動にあるとの講師のまとめの話を聞き、常により高い次元での活動を目指していく必要をあらためて感じました。

二つ目の研修は、コーディネーターから提案された自主研修として、全中学校区に学校支援本部が設置されている千葉県野田市の学校視察及び懇談を行いました。工夫を凝らした学校図書館や充実したキャリア教育のお話に刺激されるとともに、杉並区10名、野田市21名のコーディネーターが入り混じり、お互いの良いところを見つけ合うワークショップを行いました。

どちらの研修も、他の自治体の様子を知ることで、杉並の良さや課題を見つけ、これからを考える機会となりました。



「土曜夢プロジェクト」決定！

学校と学校支援本部が連携を進め土曜授業をより豊かなものにするため、各学校支援本部に「土曜夢プロジェクト」企画の提案を呼びかけました。この事業は、学校支援本部からの事業等の提案を受け、杉並区教育委員会がその内容に応じて、費用を交付するものです。呼びかけの結果、10本部（企画提案数12件）（うち1件は小中学校合同）から応募がありました。

どの企画も創意工夫をこらした素晴らしいものでしたが、5つの観点（学校との連携・地域資源の活用・発展性・創造性・費用対効果）に基づき審査した結果、以下9つの企画を「夢プロジェクト」として採用しました。

- ★「ことば」の教育（杉並第一小学校学校支援本部）
- ★スポーツでつなぐ豊かな地域づくりプロジェクト みんなで走ろう！善福寺公園マラソン（ももし学校支援本部）
- ★松庵小「科学の祭典」（松庵小学校学校支援本部）
- ★小中連携で地域清掃（富士見丘小学校学校支援本部・富士見丘中学校支援本部）
- ★「視界良好」コミュニケーション（和田小学校支援本部）
- ★「温故知新 わたしたちの天沼」（天沼小学校支援本部（あまぬまワンダラーズ））
- ★夢ネットタイム「福祉体験学習」（荻中学校支援委員会）
- ★地域の食に学ぶ「食育」（高井戸中学校支援本部）
- ★高井戸中学校に咲くアンネのバラに学ぶ（高井戸中学校支援本部）



こんにちは、第7号で登場したシバヤギのポッコです☆かわいい女の子です♪
実は、私、今年の5月に松庵小学校にやって来ました。平日は学校の先生や4年生、休日はPTAや地域の方々がお世話をしてくれます。地域のファームから美味しい干し草をいただいたり、ボランティアの方に柵を作ってもらったり、たくさんの方々可愛がってもらっています♪
松庵小に来たらぜひ小屋をのぞいて下さいメ～（^▽^）

